

保育所における自己点検・自己評価

平成29年度分 はなぶさ保育園

※この様式を使用し、年間の保育所としての自己点検及び自己評価を年度末に実施し、翌年度の保育計画を作成していきます。

A: たいへんよい
B: よい
C: 一部検討を要する
D: 改善を要する

項目

◎保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実際を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			保育目標を職員間で共通認識を深めながら、今後も当園ならではの特色ある保育を実践していきたい。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。		○			
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	○				
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			保育所保育指針に基づき、各年齢に応じた環境構成を常に意識し、子ども一人ひとりの成長に応じた保育をより実践していく必要がある。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した保育や家庭を常に工夫しているか。		○			
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。		○			子どもに無理のない、1日の流れを構成していく。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			行事についてはマンネリ化しないよう、趣向工夫を凝らしながら計画・実施ができた。だが、ねらいを十分持てなかった行事もあるため、次年度も一つひとつの行事を丁寧に計画実施していく。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。			○		
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			今年度で職員増加ができ、職務分担も適切にできた。職務分業も明確化も図れたため、次年度はより充実させていく。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。			○		形骸化している会議もあるため、より意見が出しやすい会議となるよう工夫していきたい。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。		○			
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○			年齢に応じた保育を実施できたが、次年度は新たな保育指針となるため、それに沿った教育・保育の実施をおこなう。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即しているか。		○			
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○			
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○			
		(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。		○			
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			健康については家庭への啓発が保健だよりを通してできているが、安全に対してが不十分であるため、次年度は検討を要す。また、安全確保に関する地域・関係機関との連携を密に取れるよう検討する必要もある。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。			○		
(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。				○			
研究・研修	所内研究・研修	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○		研究・研修を計画的に実施したが、その成果を十分に日常の保育に反映できていない部分もあるので、より理解を深め、それを実践していく必要がある。	
		(2) 所内研修の計画・運営は適切か。	○				
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○			
		(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○			
	所外研究・研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			次年度よりキャリアアップ研修が具体化するため、参加体制の充実を図りたい。	
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○				

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。		○			個人情報の流出がないよう細心の注意を払っていく。	
	(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。		○				
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○				
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○			・遊具、用具を必要に応じてすぐに取り出せるよう保管方法の検討が必要である。 ・不審者等対策の訓練、園内研修などを充実させていく必要がある。	
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。			○			
	(3)不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。			○			
	(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○				
出納経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。		○				
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		他施設の幼児、児童と触れ合う機会が少ないため、計画的に取り組む必用があり。	
		(2)他施設等の幼児、児童、生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○		
		(3)指導者どうしが、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。			○		
		(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。			○		
		(5)日常的に情報を交換し、それぞれ交流活動に生かしているか。			○		
家庭・地域社会との連携	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			保護者・地域の方々と、より連携が図れるような行事等を検討する必要がある。	
	(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○				
	(3)(乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			未就園児対象の行事を開催し、地域の子育て支援を行っていく。	
	(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○				

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれた保育所づくり	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。		○			地域の未就園児を対象としての園庭開放や子育て支援事業を計画的に実施できたが、参加人数が今年度より多くなるよう、内容の検討及び周知方法を見直す必要がある。
		(2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。		○			
		(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	情報の発信	(1) 保育所だより、クラス通信、ホームページ等で施設の情報発信しているか。	○				園だより、クラス週報、ホームページで園の情報を発信できていた。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	○				
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	第三者評価の導入していない
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			地域・保護者から意見は真摯に受け止め、施設運営に反映する取り組んでいく。